

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	専門学校 日産横浜自動車大学校
設置者名	日産自動車株式会社

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 授業計画作成ガイドラインに基づき、専門科目全てのシラバスを作成し、年度初めに学校ホームページ及び学生端末※に掲載し、学生及び外部に公開している。 ※学生所有のスマートフォン等のアプリ「Class Room」 https://wp.nissan-gakuen.ac.jp/yokohama/wp-content/uploads/2020/06/fa128f979d5604ce8f1fe4328bba3e79.pdf	
授業計画書の公表方法	https://www.nissan-gakuen.ac.jp/yokohama/curriculum.html
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

- ・規定出席率を充足したうえで、試験（筆記・実習）に合格することで履修を認定する。成績については、試験の点数により優・良・可の3段階で判定する。

学習評価について

<一級自動車工学科>

- ・学習評価は教科ごとに下記試験を行い、合格しなければその教科を履修したと認められない。可否の判定は下記「判定基準」により行う。

〈期末試験〉

- ・教科の学習効果を判断するために、教科毎に実施する。実習については授業内容の進捗により、教科の途中で試験を実施する場合もある。

〈判定基準〉

- 1) 学科、実習共に期末試験得点を成績得点とする。
- 2) 学科、実習共に成績得点が70点以上を合格とする。
 - ※ 国家2級資格取得のための特定の教科においては、80点以上を合格とする。
- 3) 成績得点を基に評定（優・良・可）、成績順位を決める。
 - ※ 優：80点以上 良：70点以上 可：70点未満
 - ※ 評定及び成績順位は、期末試験に合格し、教科規定の出席率を満たした場合に決められる。

<自動車整備科>

- ・学習評価は教科ごとに下記試験を行い、合格しなければその教科を履修したと認められない。可否の判定は下記「判定基準」により行う。

〈期末試験〉

- ・教科の学習効果を判断するために、教科毎に実施する。実習については授業内容の進捗により、教科の途中で試験を実施する場合もある。

〈判定基準〉

- 1) 学科、実習共に期末試験得点を成績得点とする。
- 2) 学科、実習共に成績得点が60点以上を合格とする。
 - ※ 国家2級資格取得のための特定の教科においては、80点以上を合格とする。
- 3) 成績得点を基に評定（優・良・可）、成績順位を決める。
 - ※ 優：80点以上 良：60点以上 可：60点未満
 - ※ 評定及び成績順位は、期末試験に合格し、教科規定の出席率を満たした場合に決められる。

＜モータースポーツ科＞

・学習評価は教科ごとに試験を行い、合格しなければその教科を履修したと認められません。可否の判定は下記「判定基準」により行います。

〈平常試験〉

・平常の学習効果を判断するため、随時実施されます。

〈期末試験〉

- ・教科の学習効果を判断するために、教科毎に行われます。
- ・教科により、レポートで学習効果を判断することがあります。

〈判定基準〉

・期末試験得点が 60 点以上を合格とします。

3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

・各科目の期末試験の結果を合計し、その平均点で成績順位を付け分布を把握し学生の指導に役立てる。

＜一級自動車工学科＞

前期および後期の期末試験の平均点を 100 点換算で順位付けを行い、得点分布を把握する

＜自動車整備科＞

半期ごとの期末試験の平均点を 100 点換算で順位付けを行い、得点分布を把握する

＜モータースポーツ科＞

半期ごとの期末試験の平均点を 100 点換算で順位付けを行い、得点分布を把握する

客観的な指標の
算出方法の公表方法

<https://www.nissan-gakuen.ac.jp/yokohama/infomation.html>

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

卒業認定方針（ディプロマポリシー）に基づき、全専門科目の履修を確認した上で、授業態度、出欠状況等を鑑み、卒業を認定している。

＜ディプロマポリシー（共通）＞

日産・自動車大学校では、本学の学生が以下に示す能力を取得することを、学校全体の称号授与に関する方針（ディプロマポリシー）として定め、各学科ではそれを具体的に規定する。

- ① 学校で学んだ知識、技能及び高い人間性（自主性、主体性）を備えていること
- ② 社会人としての倫理観と責任感を備え、広く自動車業界に貢献できる熱意を備えていること
- ③ 周囲とのコミュニケーションを欠かさず、共感力による思いやりを持った行動ができる

＜一級自動車工学科＞

1 種養成施設として国土交通省により定められた学科・実習の全教科を履修し、以下に記す知識と能力を培った者に文部科学大臣告示による高度専門士（工業専門課程）を授与する。

1. 資格

- ① 国家一級自動車整備士資格を取得できる知識と実践力を身に付け、自動車エンジニアとして高度で総合的な知見を有している

2. 技術

- ① 日産 2 級整備士資格の学科試験に合格できる知識を有している
- ② 日産資格制度の日産 2 級技術能力要件項目に沿った内容の作業ができ、CS マインドを身に付け、一連のお客様対応スキルにより、お客様満足を優先する対応ができる
- ③ 企業経営に関する知識を身に付け、業務効率の重要性を理解している

3. 人間力

- ① 主体性を基に自ら学ぶ意欲及び探究心を持って学習し、自ら目標を掲げて行動できる
- ② 組織の中で自分の役割を理解し、主体的に課題を解決する行動力を身に付けている
- ③ 相手の気持ちや考えを理解するコミュニケーション力を持ち、チーム全体をリードしていく意思を有している
- ④ 積極的に社会・地域に貢献し、法令・倫理の規範を遵守することができる

＜自動車整備科＞

1 種養成施設として国土交通省により定められた学科・実習の全教科を履修し、以下に記す知識と能力を培った者に文部科学大臣告示による専門士（工業専門課程）を授与する。

1. 資格

- ① 国家二級自動車整備士資格を取得できる知識と実践力を身に付け、整備士として基本的な自動車整備作業ができる

2. 技術

- ① 日産3級整備士資格を取得できる知識と技術を有している
- ② 日産資格制度の日産3級技術能力要件項目に沿った内容の作業ができ、CS マインドを身に付け、一連のお客様対応スキルを身に付けている

3. 人間力

- ① 自主性を基に学ぶ意欲、向上心を持ち、自ら課題に対し積極的に取り組む姿勢を身に付けている
- ② チームの一員として共同作業のベースとなるコミュニケーション力を有している
- ③ 社会・地域に貢献し、法令・倫理の規範を遵守することができる

<モータースポーツ科>

モータースポーツ科では、以下に記す知識と能力を培った者に卒業証書を授与する。

1. 資格・技術

- ①国内A級ライセンス、カートライセンス、各種サーキットライセンスを取得し、サーキットを安全に走行できるスキルを身に着けている
- ②サーキットを安全に走行できる技術と車両整備知識を身に付け、また調整や交換の変化を体感しお客さまへの高度な整備提案やアドバイスが出来る

2. 人間力

- ①整備作業においてタスクマネジメントが出来、主体性を基に自ら目標を掲げて行動できる
- ②関わる全ての人に対し、挨拶、感謝の気持ち、謙虚さを兼ね備え実行できている

卒業の認定に関する
方針の公表方法

[https://www.nissan-
gakuen.ac.jp/yokohama/infomation.html](https://www.nissan-gakuen.ac.jp/yokohama/infomation.html)